

## 平成28年度 事業報告

平成28年度は、昨年度に引き続き中期計画基本方針の目標達成に向け、会員と役職員が一体となり、積極的に市民への普及啓発活動を進めました。

その結果、会員数は昨年度まで過去4年間減少が続いていましたが、本年度は11名の増員となり会員数は861名になりました。就業人員及び就業率は、年々減少していますが、本年度はワークシェアリングの推進に努めたことから就業延日人員が若干上昇しました。契約金額は、受注件数の減少があったものの、公共事業の契約が増額となったことから、派遣事業を含めた総契約額は、3億6千683万9千293円となり、前年度比で100.9%と前年度を上回る結果となりました。今後も就業開拓の推進と会員拡大は、当センターの最重要課題とし継続した取組みを推進して行きたいと考えています。

安全就業では、安全就業パトロール員の定期パトロールと安全委員会による現場パトロールを引き続き実施しましたが、本年度は草刈作業時の飛石等による損害賠償事故が大幅に増加しました。

このため安全委員会では、事故発生現場の現場検証を実施し、飛石等の事故防止対策について検討を行いました。急には十分な成果が得られないことから、引き続き草刈班の班長及び会員も含め、飛石事故の防止対策について重点的に取り組みます。

公益社団法人としては、地域に根差し、地域と共に歩むシルバー人材センターをめざし「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」等に積極的に参加し、普及啓発の推進及び市民交流に努めるとともに、社会貢献活動として早朝清掃等のボランティア活動にも多くの会員が積極的に参加し、地域組織との交流連携を行いました。

平成28年度の主な事業の実施状況については、以下のとおりです。

### 1 主な事業の実施状況

#### (1) 会員の拡大

- ① 会員の拡大は、シルバー事業を推進する上での最重要課題として取り組み、会員募集の活動として、新聞への折り込みとポスティングによる会員募集チラシの各戸配布、市の広報及び新聞等への会員募集広告、会員の友人や知人を紹介していただく一会員一声運動等を実施しました。
- ② 入会説明会を年11回開催したところ、参加者148名の内126名の

方が入会されました。退会者数は、前年度より20名減少し115名でした。この結果、総会員数は前年度より11名増加し861名になりました。

## **(2) 就業機会の拡大**

- ① 就業機会の開拓及び職域拡大等に取り組むため就業機会創出員を3名配置し、市内256事業所等の訪問を実施し、新たに4事業所からの就業機会を得ました。
- ② 未就業の会員及び長期離職の会員等に、情報交換及び就業アドバイスを行う「お仕事相談会」を毎月実施したところ、42名の会員が参加され13名の会員が就業の機会を得ました。また、就業率の向上を図るため、ワークシェアリングによる就業形態の推進に努めました。

## **(3) 普及啓発活動の推進**

- ① 会員拡大の推進に向け、地域住民へ情報提供及び理解を得るため、女性の会が中心となり「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」に出店を行い、多くの市民が参加する中でパンフレット等の配布を行いました。
- ② ホームページの更新をはじめ、公共施設へのパンフレット設置、市広報誌「広報いせ」へのシルバー特集の掲載等により、受注開拓及び入会勧誘の普及啓発を行いました。
- ③ 会員への意識啓発及び情報の共有化を図るため、会報誌「伊勢シルバー」を年間2回（第21号・第22号）発行し全員に送付しました。

## **(4) 技能講習・研修等の充実**

- ① 後継者不足が顕著で、一定の育成期間を要する職群の剪定・草刈等の技術の育成及び刈払機の取扱いについて、会員と市民も含めた技能講習会を開催しました。
- ② 会員の就業に必要な知識や技能の取得及び会員募集への普及啓発として市民参加も含めた、介護、パソコン、料理等の文化講習会や剪定、草刈等の実技講習会を開催しました。

## **(5) 安全・適正就業の徹底**

- ① 安全就業推進計画に基づき、安全委員会を6回開催し、現場安全パトロールに加え傷害及び損害賠償事故の現場検証を行い、再発防止に向け安全対策の意識の高揚を図る指導を実施しました。

- ② 損害賠償事故率の高い除草・剪定作業については、安全就業パトロール員を配置し、年間615件（105日）の安全パトロールを実施し、就業前の安全ミーティング等の実施及び安全保護具着用の徹底等の安全指導を行いました。しかし、別表のとおり傷害並びに損害賠償とも事故件数が、過去5年間で最高の件数となりました。なかでも、草刈作業中の飛石等による損害賠償事故は、昨年度より2倍以上に増加しました。

#### 傷害と損害賠償事故の経過

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員の傷害	7	3	2	6	10
損害賠償	11	7	15	7	19
計	18	10	17	13	29

- ③ 安全・適正就業強化月間中の取組みとして、7月に安全就業講習会（参加者34名）、11月に安全運転講習会（参加者12名）を開催し、就業途中の交通事故防止、日常の健康管理や自動車の安全運転の方法についての啓発に努めました。
- ④ 適正就業に関しては、「適正就業基準に関する取扱要綱」に基づき、施設管理等の長期継続就業会員に対し就業交代をお願いし、より多くの会員へ公平な就業機会の提供に努めました。

### (6) シルバー派遣事業の推進

シルバー人材センター事業における派遣と請負の区分等に留意し、適正な契約に基づく運営の確保に努め、適正就業に係る改善を実施するよう三重県シルバー人材センター連合会より指導があり、昨年度の自動車運転業務の派遣契約への切り替えに続き、懸案であったスーパー等の店内業務や調理関係業務等の指揮命令関係が生じる業務について、発注先と協議を行い新たに派遣契約に切り替えることで同意を得ました。

### (7) 事業運営の活性化

#### ① 地区連絡会の推進

「地区連絡会設置要綱」及び「地区連絡会事業運営規約」に基づき、24地区で地区連絡会を立ち上げ、シルバー事業の活動促進、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を推進するため、各地区連絡会による学校や公共施設

等の清掃ボランティア及び親睦会等を開催しました。また、各地区で地区連絡会議を開催し来年度の活動計画の検討を行いました。

② 女性活動の活性化

「女性の会」の会員により、「伊勢まつり」・「福祉フェスティバル」の会場でシルバーコーナーを出店し、市民との交流をとおりセンターのPR活動を行っていただきました。また、県連合会主催の「シルバーいきいきフェスタ2016」に参加し、女性の会の取組みについての経験発表を行いました。

③ 事務所移転に伴う連絡所の設置

平成28年1月に小俣支所、平成28年4月から二見支所の窓口業務を本所に統合し、事務所の一元化による事務の効率化を図りましたが、事務所スペース、公用車の駐車場、備品機械等の収納場所の不足等の問題が発生したことから、平成28年9月20日に、西豊浜町地内の伊勢志摩総合地方卸売市場の2階に事務所を移転しました。これに伴い、会員の皆様の便宜を図るため、二見支所を二見連絡所に名称変更し、午後のみ開設しました。また、旧市街地には、商店街の空き店舗を利用し、会員の連絡用窓口施設として、新しく「しんみち連絡所」を午後のみ開設したところ、1,369名の会員に利用していただきました。